

特定子ども・子育て支援提供証明書 兼 領収書

【 年 月 分 ～ 年 月 分】

認定 保護者	フリガナ		認定児童 との続柄	認定 児童	フリガナ		施設等利用給付の認定区分
	氏名						<input type="checkbox"/> 新3号

「費用」の欄には、「特定子ども・子育て支援利用料」の額を記入すること。
無償化上限額を超えた場合でも、利用料金の全額を記入すること。

【特定子ども・子育て支援の提供内容及び領収金額】

支援の内容、提供した日（日数）、提供時間帯、費用がわかる他の書類をもって替えることも可。

特定子ども・子育て支援の内容	提供月	提供した日（日数）	提供時間帯※1	費用※2	領収金額（差額分）※3
<input type="checkbox"/> 幼児教育（私学助成園等）	年 月 分	日 ～ 日	～	円	円
	年 月 分	日 ～ 日			円
	年 月 分	日 ～ 日			円
<input type="checkbox"/> 認可外保育施設	年 月 分	日 ～ 日			円
	年 月 分	日 ～ 日			円
	年 月 分	日 ～ 日	～	円	円
<input checked="" type="checkbox"/> 預かり保育事業	RO 年 ● 月 分	月の提供日数 10 日	14:00 ～ 17:00	5,000 円	500 円
	RO 年 ● 月 分	月の提供日数 10 日	14:00 ～ 17:00	5,000 円	500 円
	RO 年 ● 月 分	月の提供日数 10 日	14:00 ～ 17:00	5,000 円	500 円
<input type="checkbox"/> 一時預かり事業	年 月 分	月の提供日数 日			円
	年 月 分	月の提供日数 日			円
	年 月 分	月の提供日数 日			円
<input type="checkbox"/> 病児・病後児保育事業	年 月 分	月の提供日数 日			円
	年 月 分	月の提供日数 日			円
	年 月 分	月の提供日数 日	～	円	円

「領収金額（差額分）」の欄には、費用が無償化上限額を超え、その差額分を保護者から徴収した金額を記入すること。

(例) 月の費用 5,000円
上限額 4,500円の場合

費用の欄 5,000円
領収金額の欄 500円となります。

※1 提供時間帯は、標準的な利用時間帯を記入。

※2 費用は、「特定子ども・子育て支援利用料」の額を記入。
(日用品、文房具、行事参加費、食材料費、通園送迎費等は含めないこと。)

※3 領収金額（差額分）は、費用が無償化上限額を超え、認定保護者から差額分を徴収した場合にその徴収額を記入。

上記のとおり、認定児童に対し、特定子ども・子育て支援を提供するとともに、
無償化上限額を超える額について領収したことを証明します。

発行日 年 月 日 設 置 者 名 称 _____
所 在 地 _____
代 表 者 職 氏 名 _____
施 設 ・ 事 業 所 的 名 称 _____

【特定子ども・子育て支援利用料の無償化について（参考）】

幼児教育・保育無償化により、各利用料は下記の上限額まで無償化されます。

・幼稚園（私学助成園等）・・・月額25,700円

・預かり保育・・・月額11,300円 と 450円×月の利用日数 のいずれか少ない額

・認可外保育施設、一時預かり事業、病児・病後児保育事業・・・月額37,000円（新3号認定は42,000円）

無償化する利用料については、施設・事業所が八戸市に請求を行い受領することにより、保護者から徴収しない形（法定代理受領）
を採っております。また、月の利用料が上減額を超える場合は、差額分を保護者負担分として徴収します。